

ACFE (ACFE JAPAN) と CFE (公認不正検査士) 資格について



2018-2019 Board of Regents

元 FBI 特別捜査官である Joseph T. Wells により設立された ACFE は、弁護士や捜査官など不正対策・不正調査に優れた見識を持つメンバーにより運営されています。

写真の左から

Jeanette LeVie, CFE (Advisory Member)

Ryan C. Hubbs, CFE, CIA, CCEP

Tony Prior, MBA, CFE

Elizabeth Simon, CFE, CPA

Bruce Dorris, J.D., CFE, CPA (Advisory Member, President and CEO)

Alexis C. Bell, CFE, PI (Chair)

John Warren, J.D., CFE (Advisory Member)

Vidya Rajarao, CFE, CA (Vice Chair)[この写真にはおられません]

■ ACFE の概要

公認不正検査士協会 (ACFE, Association of Certified Fraud Examiners) は、不正対策の必要性の高まりに応えるべく、1988 年に米国で設立されました。現在では、全世界に 200 近くの支部と 8 万人を超える会員を擁し、不正対策分野における世界のリーダーとしての地位を確立しています。

ACFE が隔年で発行する組織内不正に関する調査報告書 “2018 Report to the Nations”^(*) によると、一般的な企業では、年間の利益の 5% が不正で失われていると考えられています。

ACFE では、組織内における不正の抑止・防止のための取り組みを行う専門家を育成し、その能力・経験を備えた人物を CFE (Certified Fraud Examiner, 公認不正検査士) として認定しています。

^{*}1) ACFE JAPAN の Web サイト (<https://www.acfe.jp/>) にて邦訳版の「2018 年度版 職業上の不正と濫用に関する国民への報告書」を公開しております。ご覧ください。

■ ACFE の使命

- 不正対策に必要な高度な知識と能力を備え、正しい倫理観を持った専門家を育成する。
- 不正対策の専門家の代表として、企業、政府、公的機関、教育機関などに働き掛けを行う。

**CERTIFIED FRAUD
EXAMINER****■ CFE 資格の概要**

不正の対策を行うには、不正の実行に至るまでの3つの要因「動機」「機会」「正当化」についての理解が不可欠です。広く知られている「内部統制」という仕組みは、不正の「機会」は低減できますが、「動機」「正当化」という要因は制御できません。

不正対策の実効性・有効性を高めるには、内部統制の仕組みで不正の未然防止に努めながら、不正の手法や不正リスク顕在化の兆候についての理解を深めて、疑惑が生じた場合に的確な調査を進められる体制を整えておく必要があります。CFE (Certified Fraud Examiner, 公認不正検査士) は、そのような体制の構築に貢献します。

米国では、会計分野における CPA (Certified Public Accounting, 公認会計士) や、内部監査分野における CIA (Certified Internal Auditor, 公認内部監査人) と同様の公認資格として、捜査機関、監査機関、金融機関などを中心に、不正対策関連の職種に就く際の必須資格・優遇資格とされています。

※ 参考 ※

- FBI (米連邦捜査局) では、特別捜査官プログラムにおいて認められた、唯一の専門資格です。
- 米国防総省では、会計専門職の資格として認定されています。

**CERTIFIED FRAUD
EXAMINER****■ CFE の能力・役割**

- 組織内での不正対策（不正の抑止・防止）に必要となる「会計」「法律」「調査」「犯罪学」の各分野の知識を有しています。
- 不正に対して毅然とした、正しい倫理観を備えています。
- 組織内の不正撲滅のための取り組みにおいて、リーダーシップを発揮します。

■ 著名な CFE 資格保有者

Cynthia Cooper

ワールドコム (WorldCom) の内部監査部門責任者としての立場から同社の不正会計事件 (38 億ドルもの粉飾) を告発する。

Joseph Gutheinz

NASA (米航空宇宙局) 取引先企業による巨額不正請求事件において不正調査のリーダー (Omniplan Task Force Leader) を務める。

Harry Markopolos

バーナード・マドフ (Bernard Madoff) による巨額投資詐欺事件 (650 億ドル規模の投資詐欺事件) に一早く危険性を訴える。

David P. Weber

米証券取引委員会 (SEC) の調査部門責任者 (Chief Investigator)。

Joseph T. Wells

ACFE の創設者であり代表。

**CERTIFIED FRAUD
EXAMINER****■ CFE になるまでの流れ**

1. ACFE (ACFE JAPAN) の会員になります。
2. CFE 資格試験を受験して合格します。
3. 不正関連の職務経験を積み、CFE 資格審査を経て CFE として認定を受けます。

CFE は、不正対策の専門家であることを認定する資格であるため、資格試験受験時と CFE 認定時には、それぞれで要求される条件を満たす必要があります。詳細は、次のページをご覧ください。

CFE 資格要件

<https://www.acfe.jp/cfe/cfe-entry/eligibility-requirements-for-CFE.php>

日本における CFE 資格試験は、米国 ACFE に準拠し、ACFE JAPAN が運営・実施しており、日本語で受験できます。実施時期は、春と秋の年 2 回です。詳細は、次のページをご覧ください。

CFE 資格試験について

<https://www.acfe.jp/cfe/cfe-exam/about-cfe-exam.php>



一般社団法人 日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN) 理事長 藤沼 亜起

一般社団法人 日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN) は、日本公認会計士協会 相談役・元会長である 藤沼 亜起 を理事長として、不正対策に必要とされる知識分野の専門家である弁護士や公認会計士を中心とした理事会により運営されています。

■ ACFE JAPAN の概要

一般社団法人 日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN) は、2005 年 4 月に設立されました。日本においても高まりつつある不正対策の必要性に応えるべく、ACFE 本部と協力して不正対策に関連する活動・教育などの日本国内への普及・展開を行っています。

2018 年 7 月末現在、1,800 名近い会員が在籍し、うち 1,200 名以上が CFE (Certified Fraud Examiner, 公認不正検査士) として、日本国内での不正対策で活躍しています。

■ ACFE JAPAN の理事長・理事・監事

理事長

藤沼 亜起 日本公認会計士協会 相談役 (元会長), 公認会計士

理事

竹内 朗 プロアクト法律事務所 パートナー, 弁護士, CFE

辻 さちえ 株式会社エスプラス 代表取締役, 公認会計士, CFE

山口 利昭 山口利昭法律事務所 代表, 弁護士, CFE

結城 大輔 のぞみ総合法律事務所 パートナー, 弁護士, US NY 州弁護士, CFE

脇山 太介 株式会社ディー・クエスト 代表取締役, CFE

監事

金田 勇 金田公認会計士事務所 所長, 公認会計士, CFE



ACFE®

Association of Certified Fraud Examiners

■お問い合わせ先

一般社団法人 日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN)

<https://www.acfe.jp/>

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館本店ビル12階

tel : 03-5296-8338 / fax : 03-5296-8337 / email : info@acfe.jp